

介護体験を聞く会



聞く会



ホームページ
<http://www.yanagida-kaigo.co.jp/>

会報第202号

平成30年10月15日発行

発行所：(有)明寿会

住所：川崎区中島1-13-3

電話：044-233-0061

*11月は24日です

(於：三々五々館)

文化祭を振り返つて

10月27日(土)

敬老文化祭が開催されました。両日ともに天候に恵まれ多くの方々に足を運んで頂きました。

誠にありがとうございました。あまり広くはない会場の会、院長先生の講演会、朝の会、口腔体操、音楽プログラムも盛り沢山でした。

土曜日はデイケア室が営業していましたのでご利用の方々をお連れする事が出来ました。約一年分の作品を全部飾った場内を見て「わあ、こんなに作つたんだねえ。」「きれいだ。」と皆さん笑顔でした。初めての試みでしたが、日頃の活動(作品の行方)を知つて頂く良い機会となり、作品が出来る度に「文化祭に飾ります。」

心地良い暖かさの屋外スペースでは漢方展示コーナーに興味を示してじっくり見学される方や、喫茶コーナーでお茶やお菓子を食べてゆっくり寛いでいる方と、思い思いの時間を過ごして頂くことが出来ました。賑やかで楽しく盛り上がった二日間でした。

「文化祭に飾られるのか」という職員の言葉に、こんな風に飾られるのか：と、思つていただけたことでしょう。目の当たりにされ喜んで下さる姿が見られた事はとても嬉しかつたです。



文化祭実行委員長
三浦希久子(デイケア室)

最後に、会場の三々五々館の場所が「わからなかつた。」「わかり辛い。」などのお声を頂きました。

オープン開館して約一年半経ちますが、まだまだ地域の方々に周知がなされていないことが今回わかりました。次回はわかり易くお越し頂けます様ご案内致します。貴重なご意見ありがとうございます。

ご案内致します。貴重なご意見ありがとうございます。

文化祭実行委員長
三浦希久子(デイケア室)

2018年敬老文化祭来場者アンケート集計結果
開催日..2018年10月27日(土)
28日(日)

【来場者数164名】
初日89名
2日目75名

【アンケート回収数73枚】
初日38枚
2日目35枚

「?、」今回の文化祭を何で知りましたか?(複数回答可)

- ①家族から:12
- ②知人から:9
- ③職員から:3
- ④勤務先・学校:1
- ⑤掲示板・店頭:5



利用者(家族)の日頃の活動を知る:27
事業所の活動を知る:3
②
③認知症対応の知識を知る:20
戦争を知る:10
講演会を聞く:10
⑤
⑥音楽会(ブンネギター)を聞く:15
⑦介護食を知る:12
⑧その他:2(見学含め、母が世話になつてている)

*印象に残ったコーナー
(複数回答可)

①柳田の歴史紹介：8

②回想の樹：0 ③戦争
(広島) 資料展示：9

④院長先生の講演会
：19 ⑤デイケアの作品
：18 ⑥デイサービスの作品
：18 ⑦グループホームの作品
：20 ⑧調理・給食紹介
：8 ⑨柳田居宅資料：1
⑩栄養補助食品：11
⑪メイ子先生の似顔絵
：10 ⑫朝の会・口腔体操
：10 ⑬音楽会・ブンネギター
：21

⑭その他：2 (ボランティア・齊藤さんの羽子板、オープニングな場所で交流会を開かれたこと) 4、ご意見・ご感想やご要望などありましたらご記入下さい。
⑮27(土)のアンケートより
* **ミキサー食がきれいに作られている事に驚いた。きざみ食も分かるように形が整えられていて食べる方も分かり易い
（40代・介護職）
*いつもお世話になつて

おりします。これからもよろしくお願ひします。
(60代)

ことを知ること。
(70代)

*職員のご指導がやさしくて、ていねい！
(70代)

*院長先生のお話間に合はずすいません。
(60代)

*もっと新しい写真も出していただけると良かつた。
(無記入)

*何回目か忘れましたけど何回参加させて頂いてもびっくりする事が沢山あつてすごく感心させられました。
(80代)

*毎年來たいと思った。
(80代)

*実父、実母共72才79才で他界し認知症といふのを知らずに今過ごしております。私自身これまでおりました。私がこれまで今日参加致しました。

(*70代・会社役員)
*タクティールケア、手を使う、栄養補助。認知症に良い！婦)

(*色々な意味でこれから役に立たせられると思います。
(無記入)

(*職員の方々が明るく、楽しい会話が聞こえとても良かったと思います。
(50代・会社員)

(*こういう施設が外に対して閉鎖的になつてしまふ中、オープニングな祭りをして近隣の人を含めて行えることは、非常に良いことと思われます。全体に明るくてスタッフのみなさんも喜んで対応されてい

す。いろいろなことを積み上げました。地域に根ざしている活動、ぜひ継続して頂きたと思います。
ありがとうございます。
(60代・包括)

(*音楽会・ブンネギター
(70代)

*地域の方々が参加できる会がある施設というのが増えていくことが望まれる。職員の方々の様子もうかがえることが良いことで利用したいと思える。50代・包括支援

(*元気になれました。
(90代)

(*ブンネギターとても良かつたです。
(60代)

(*スタッフさんと意見交換ができる良かつたです。
(会社員)

(*いつも職員の方々の熱意が伝わってくる文化祭で参加できて良かったで

す。いろいろなことを積み上げました。地域に根ざしている活動、ぜひ継続して頂きたと思います。
ありがとうございます。
(60代)

*音楽会（ブンネギター）で見ないでの大変勉強になりました。
他の施設では見ないので大変勉強になりました。
音を聞いたしました。自分では歌つたり次の歌に挑戦したりと脳の活動に

なさん樂しそうでよかったです。他の施設では見ないので大変勉強になりました。
他の施設では見ないので大変勉強になりました。

*その他の口頭にてコ一ヒーのにおいが苦手なので帰ります。
(40代・マッサージ)

*その他、口頭にてコ一ヒーのにおいが苦手なので帰ります。
(40代・マッサージ)

*その他の口頭にてコ一ヒーのにおいが苦手なので帰ります。
(40代・マッサージ)

るようですが安心しました。これからもずっと続けてください。できる限りうかがいます。
(60代)

◎文化祭は終了しましたが展示作品の作者であるご利用者さん自身に見て頂きました11月2日(金)まで会場の装飾はそのまま保存中です。(一部撤収)ぜひ、ご利用者さんとお出かけください。

◎文化祭にご協力いただきありがとうございました。ご意見・ご感想などお近くの実行委員までお寄せ下さい。（2018文化祭実行委員会）

漢方医学の関心

今回の文化祭でわかつたことは、日本の漢方薬に関心が高かつたことやスエーデン製の福祉楽器であるブンネギターに関する心があつたことです。初日は漢方薬の紹介は駐輪場の奥にしていたが、2日目に前面に掲示することにしたら、関心の高さがわかつた。やり方は漢方の空き箱を積み上げ、そこには漢方薬の名前が書いてあり、葛根湯の空き箱をみて、例えればこの漢方は飲んだことがあるとかいう話しでした。漢方の空箱展示のほか、漢方がどのような生薬か、出来ていて、生薬見本も掲げました。



桂枝、芍藥、大棗、生姜、甘草



桂枝湯が葛根湯の基礎構成漢方です。それは私たちの日常生活でも目にしたり、食べたり、料理にも使つたりしているなじみがあります。しかし漢方薬は、厚生省が成分検査を行っており、宣伝教育があまりに行い、正しい規格検査合格したもので、その成

ジにあるようにアジアと日本歴史のなかでつくられたことを示しました。来年はもっと大々的に宣伝掲示したいという意見が反省会で出されました。漢方薬は日本民族の伝統医学です。世界には西洋医学と東洋医学の2つが

あります。日本は後者です。しかし歴史は中国の3世紀はじめからすると約2000年の歴史のある医学です。西洋医学は数百年ですが、その何倍も歴史があり、漢方は人々の成長の時代とともに生活の時間を過ごしてきたのです。

漢方はなじみのある医学です。それは私たちの日常生活でも目にしたり、食べたり、料理にも使つたりしているなじみがあります。しかし漢方薬は、厚生省が成分検査を行っており、宣伝教育があまりに行い、正しい規格検査合格したもので、その成

分もガスクロマトグラフィーなどの厳密な成分検査などを合格したものでなければ使えません。それはなぜもつてビューラーにどこの開業医でも使えないのかということです。そこでなぜもつてビューラーにどこの開業医でも使えないのかといふと、宣伝教育があまりに行

漢方の歴史

（監修）小曾戸 洋 北里研究所東洋医学総合研究所 医史学研究部

中 国	年 代	日 本
	殷	-1500
	周	-1000
	春秋	-800
	戦国	-600
・馬王堆医書 ・『黄帝内経』の原書成立 ・『神農本草經』の原書成立 ・3世紀初 張仲景『傷寒論』『金匱要略』の原書を著す	前漢	-400
	後漢	-200
		0
		100 弥生
		200
		300
	六朝	400 大和
		500
・610 「諸病源候論」著される ・650年代 孫思邈『千金方』を著す ・752 王焘『外台秘要方』を著す	隋	600 飛鳥
・992 「太平聖惠方」編纂される ・1065 「傷寒論」出版される ・1107 「和剤局方」編纂される ・金元四大家を中心とした金元医学理論が登場	唐	700 奈良
・1589 龍廷賢『万病回春』出版される ・1590 李時珍『本草綱目』出版される ・温病理論が展開整理される ・現代中医学理論が整理される	宋 金 元 明 清 民国 新中国	800 900 1000 平安 1100 1200 駿府朝 鎌倉 1300 1400 南北朝 1500 1600 1700 1800 1900 明治 大正 昭和 1989 平成 繩文 弥生 大和 ・562 知聰が朝鮮経由で日本に医薬書をもたらす ・630 遷唐使はじめ中国より多数の医書が渡来 ・701 大宝律令発布。律令制による医療制度が行われる ・808 日本初の医書『大同類聚方』が編纂されるが亡失 ・918 深根輔仁『本朝和名』著す。現存最古の薬物書 ・984 丹波康頼『医心方』を著す。現存最古の医書 ・1303 梶原性全『頓医抄』を著す。のちさらに『万安方』を著す ・1363 有隣『福田方』を著す ・1498 田代三喜、明より帰国 ・1528 日本初の印刷医書『医書大全』出版 ・1574 曲直瀬道三『啓迪集』を著す ・1692 名古屋玄没、生前古医方を唱える ・1773 吉益東洞没、生前万病一憲説を唱え、『類聚方』『稟徵』などを著す ・1810 多紀元簡没、考證学を確立 ・1894 渡辺宗伯没、漢方の伝統絶える ・1910 和田啓十郎『医界の鉄椎』を著す ・1927 湯本求眞『皇漢医学』を著す ・1950 日本東洋医学学会設立 ・1976 医療用漢方製剤、薬価基準に収載